

2023年3月期 決算説明資料

2023年3月期決算のポイント

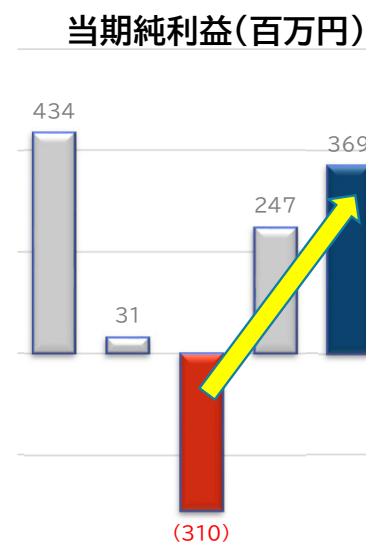
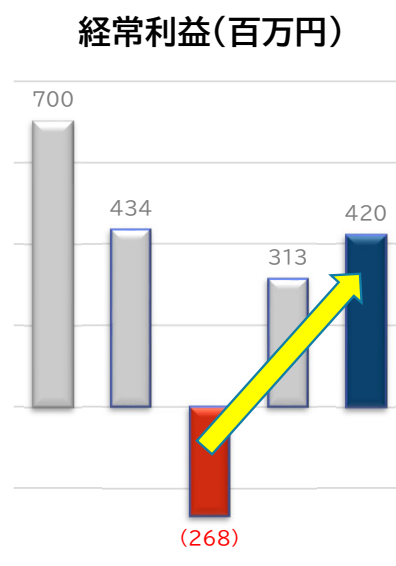
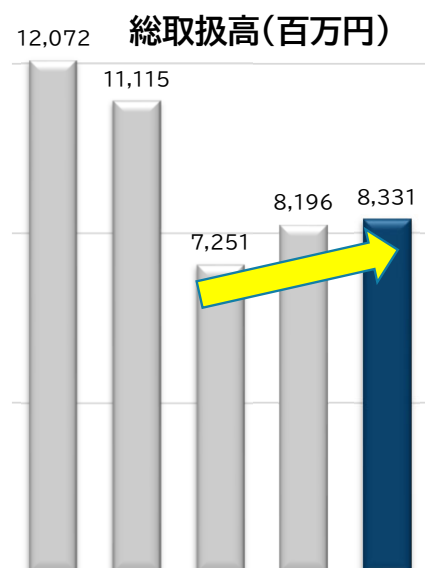
- ◆ 売上高は対前期比+1.6%の微増
経常利益は同+34.4%増の420百万円
当期純利益は同+49.4%増の369百万円で着地
- ◆ 紙媒体→インターネット広告へシフト
パチンコホール以外の広告分野における拡販活動を
主因として、収益性は継続的に改善
- ◆ パチンコホール広告需要は次世代機への投資資金確保の影響で伸び悩み
次期以降、ホール企業の収益性改善と広告需要増に期待
- ◆ パチンコホール以外の広告分野が大きく伸張、取扱高構成比は4割に迫る
- ◆ 継続的な自己株式取得→資本効率改善によるEPS成長を実現
(成長率+64.8%)
- ◆ 次期(2024年3月期)は、営業増益(対当期比+24.5%)を計画

連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	12,072	11,115	7,251	7,426	7,545
(参考)総取扱高※	12,072	11,115	7,251	8,196	8,331
営業利益	704	460	-290	296	401
経常利益	700	434	-268	313	420
親会社株主に帰属する当期純利益	434	31	-310	247	369

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。



- ◆ コロナ以降、業績は回復傾向に転換
- ◆ 取扱高は、微増トレンド
- ◆ 経常利益は大幅改善傾向
- ◆ 当期純利益の改善は、税効果の影響(一過性)あり

2023年3月期 業績の状況(対前期比)

(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	7,426	100.0%	7,545	100.0%	119	1.6%
(参考)総取扱高※	(8,196)	-	(8,331)	-	135	1.7%
売上総利益	2,127	28.6%	2,276	30.2%	149	7.0%
営業利益	296	4.0%	401	5.3%	105	35.4%
経常利益	313	4.2%	420	5.6%	107	34.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	247	3.3%	369	4.9%	122	49.4%

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

> 結果

- ◆ 売上高は微増、各段階利益は大幅に増加

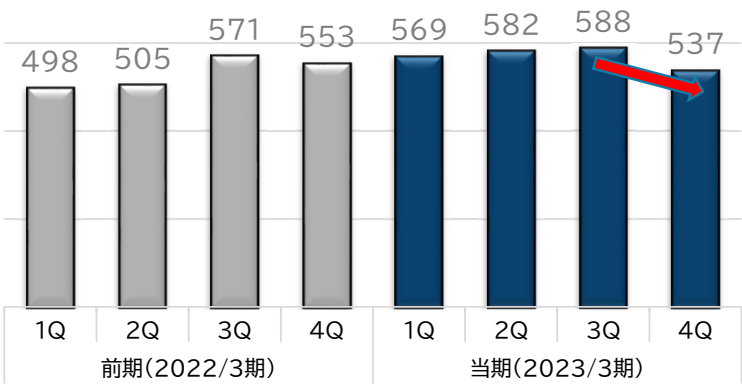
> 要因

- ◆ 取扱高の大きい紙媒体広告が減少
取扱高は小さいものの利益率の高いインターネット広告の増加
- ◆ パチンコホール以外の広告分野の顧客開拓、取引深耕を推進
- ◆ 前期より継続している販管費のコントロール

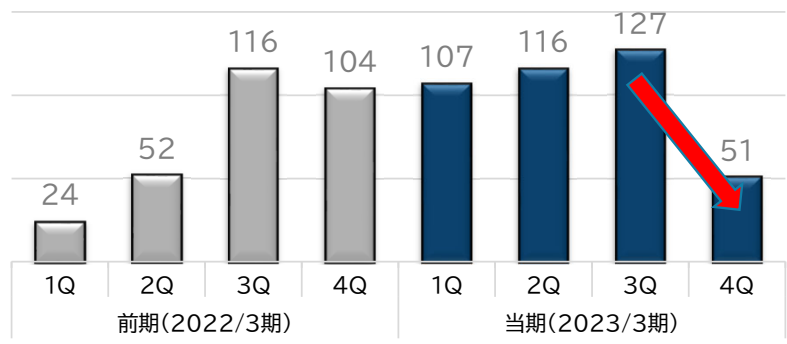
四半期 売上総利益・営業利益の状況(対前期比)



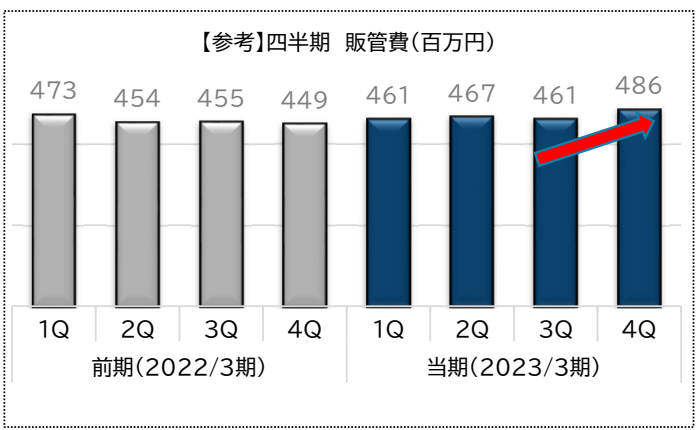
四半期 売上総利益(百万円)



四半期 営業利益(百万円)



【参考】四半期 販管費(百万円)



- ◆ 当4Qの売上総利益はパチンコホール広告需要の低迷により減少
- ◆ 当4Q中にグループ全従業員にインフレ手当(総額約20百万)を支給したため、4Qの販管費は一時的に増加
- ◆ 以上の結果、4Qの営業利益は急減

2023年3月期 業績の状況(業績予想比)

(単位:百万円)

2023年3月期	業績予想※		実績		差異	
	金額	対前期比	金額	対前期比	差異額	増減率
売上高	8,000	+7.7%	7,545	+1.6%	-455	-6.0%
営業利益	400	+34.8%	401	+35.4%	1	0.3%
経常利益	400	+27.7%	420	+34.4%	20	5.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	320	+29.3%	369	+49.4%	49	15.3%

※2022年4月15日公表予想

- ◆ 紙媒体広告が想定を下回ったことにより売上高は計画を下回る
- ◆ 利益率の高いインターネット広告の増加等により営業利益は概ね計画通り推移
- ◆ 当期純利益の超過は、税効果の影響(一過性)あり

事業の種類別セグメントの状況

【当累計期間】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	7,482	53	10	—	7,545
セグメント利益	632	22	-1	-250	401

【前年同期比】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	+126	-6	-0	—	+119
セグメント利益	+98	-6	-1	+15	+105

- ◆ 広告事業はパチンコホール以外の広告分野が増加
- ◆ 販管費の抑制により、全社費用である調整額が減少

セグメント損益(広告事業)

広告事業	前期	当期	(単位:百万円) 前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	7,356	7,482	126	1.7%
(参考)総取扱高※	8,126	8,268	142	1.7%
セグメント利益	534	632	98	18.4%

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

外部環境>

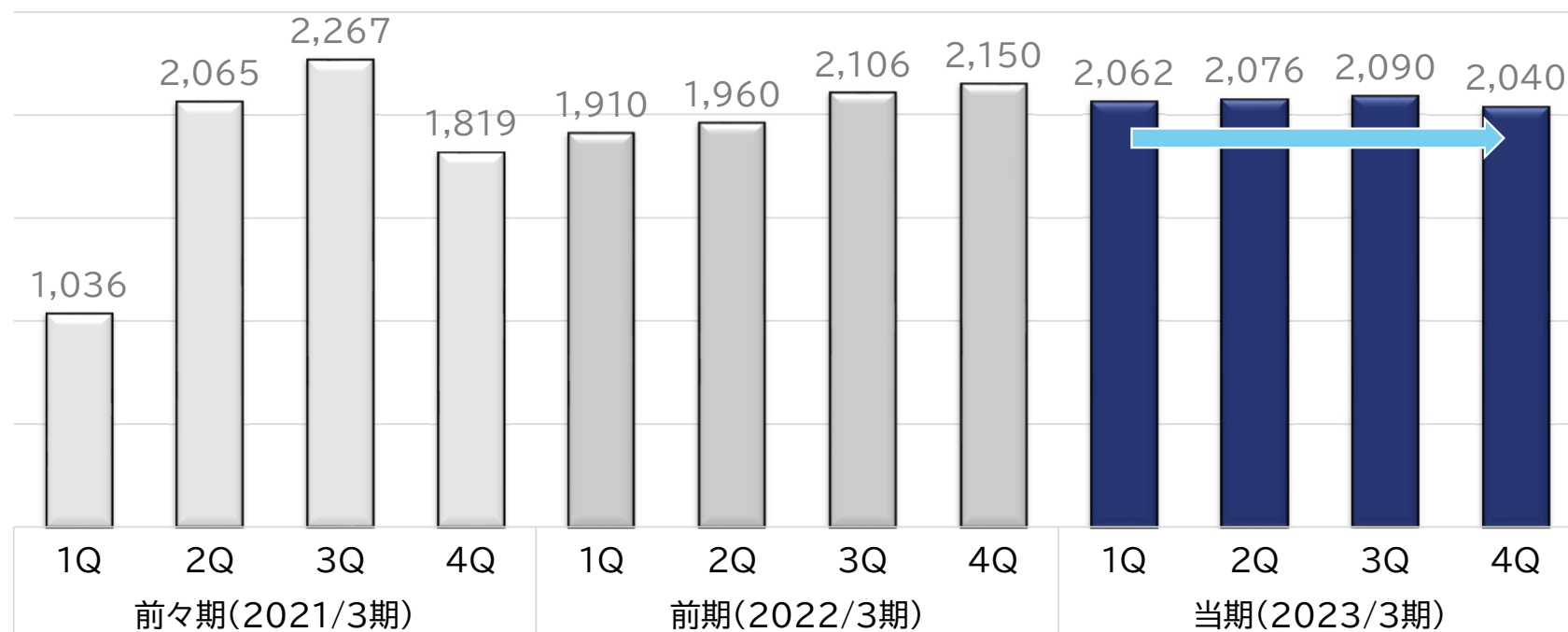
- ◆ パチンコホール施設:
来店客数は、コロナ禍以前の水準には至らず、収益面で厳しい状況は継続
- ◆ パチンコホール以外の広告分野:
行動制限の緩和等もあり回復傾向

当社グループの取り組み>

- ◆ 広告需要の伸びが期待されるセクターにおける顧客開拓をより積極的に推進
- ◆ 紙媒体からインターネット広告へのシフトを推進

【参考】四半期総取扱高の推移(広告事業)

広告事業 四半期総取扱高の推移(百万円)



※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

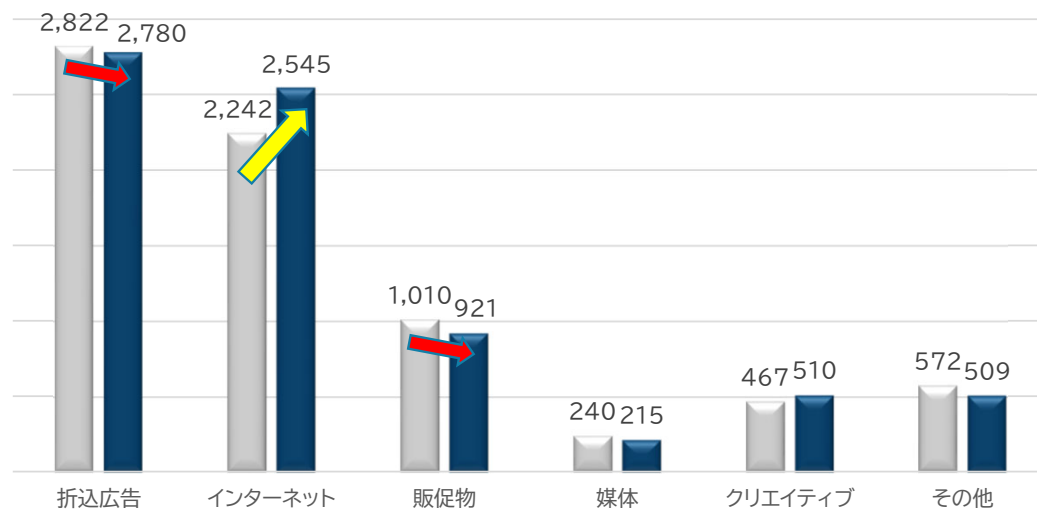
- ◆ 前期までは新型コロナウイルス感染症の影響もあり、四半期毎に広告需要は大きく変動
- ◆ 当期はコロナの影響が緩和、パチンコホール以外の広告分野の増加により、四半期毎の広告需要は概ね平準化

品目別売上高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前期		当期		前年同期比		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	構成比変動
折込広告	2,822	38.4%	2,780	37.2%	-41	-1.5%	-1.2 pt
インターネット	2,242	30.5%	2,545	34.0%	302	13.5%	3.5 pt
販促物	1,010	13.7%	921	12.3%	-88	-8.8%	-1.4 pt
媒体	240	3.3%	215	2.9%	-25	-10.6%	-0.4 pt
クリエイティブ	467	6.4%	510	6.8%	42	9.2%	0.4 pt
その他	572	7.8%	509	6.8%	-63	-11.1%	-1.0 pt
合計	7,356	100.0%	7,482	100.0%	126	1.7%	

品目別売上高(百万円)

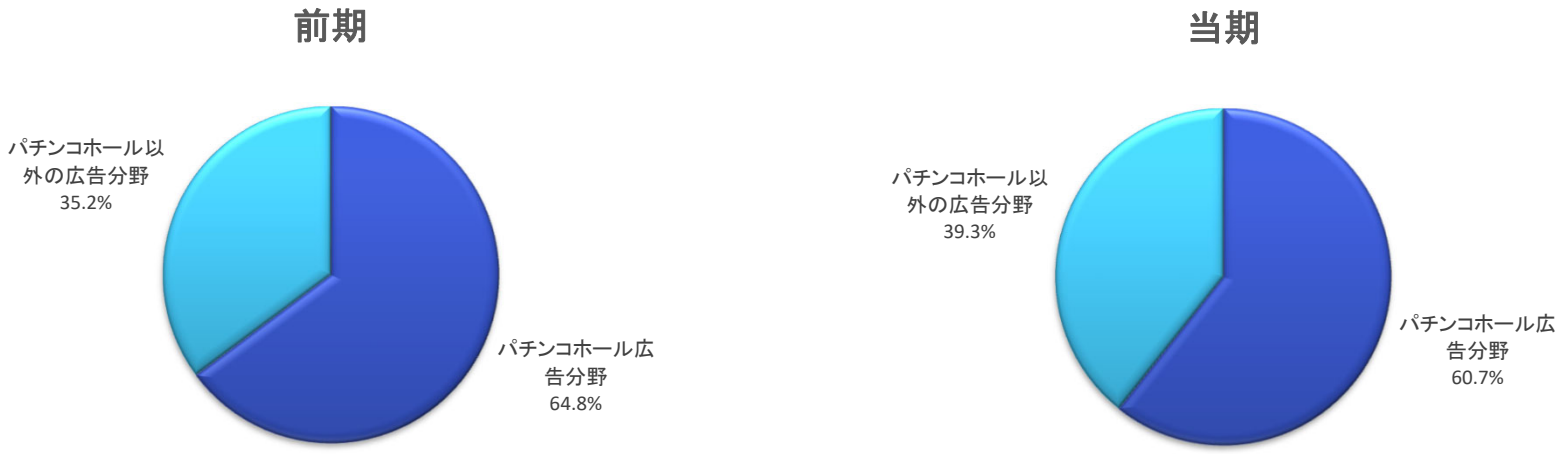


- ◆ 折込広告、販促物等の紙媒体広告は前年を下回る
- ◆ インターネット広告は堅調に推移

業種別取扱高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前期		当期		差異	
	金額	構成比	金額	構成比	差異額	増減率
パチンコホール広告分野	5,268	64.8%	5,018	60.7%	-250	-4.7%
パチンコホール以外の広告分野	2,857	35.2%	3,250	39.3%	393	13.8%
合計	8,126	100.0%	8,268	100.0%	142	1.7%



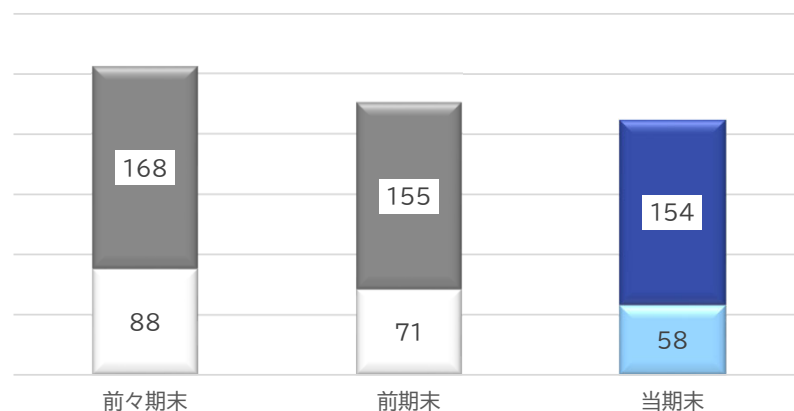
- ◆ パチンコホール広告は4Qの低迷もあり前年を下回る
- ◆ パチンコホール以外の広告分野が順調に増加し、構成比は約4割にせまる

従業員の状況

(単位:人)

	前々期末	前期末	当期末	前期比増減
営業・管理【販管費】	168	155	154	-1
クリエイティブ【売上原価】	88	71	58	-13
広告事業計	256	226	212	-14

広告事業 人員数の推移(人)



- ◆ 営業・管理 : 人員数を維持
- ◆ クリエイティブ: 紙媒体広告需要の減少により新規採用を抑制

セグメント損益(不動産事業)

不動産事業	前期	当期	(単位:百万円) 前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	59	53	-6	-10.5%
営業費用	31	31	0	0.0%
セグメント利益	28	22	-6	-21.0%

- ◆ 所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益のほか、手数料収益2百万円を計上
- ◆ 結果、売上高は53百万円(前年同期比10.5%減)セグメント利益は22百万円(同21.0%減)

連結貸借対照表

	前期末 (A)	当期末 (B)	(単位:百万円) 差額 (B)-(A)
現金及び預金	3,984	3,735	-249
売上債権	1,048	988	-59
その他流動資産	74	122	48
有形・無形固定資産	695	714	19
投資その他資産	451	495	43
資産合計	6,254	6,056	-197
買掛金	568	555	-12
短期・長期借入金	937	850	-87
未払法人税等	54	59	5
その他の負債	217	202	-14
負債合計	1,777	1,667	-109
株主資本	4,475	4,385	-91
その他	1	3	1
純資産合計	4,476	4,389	-87
負債・純資産合計	6,254	6,056	-197

.....> 自己株式の取得及び借入金の返済等による減少

.....> 返済による減少

.....> [

- ・当期純利益+369百万円
- ・自己株式の取得△310百万円
- ・利益配当△148百万円

連結キャッシュ・フロー

	(単位:百万円)	
	前期	当期
税引前利益	308	415
営業活動によるキャッシュ・フロー	359	390
投資活動によるキャッシュ・フロー	224	-104
財務活動によるキャッシュ・フロー	-419	-546
現金及び現金同等物の期末残高	3,978	3,729

◆ 現金及び現金同等物は当連結会計年度において249百万円減少

+ 税引前利益	415		
+ 減価償却費	44		
+ 売上債権の増減額	59		
+ その他	63		
			- 仕入債務の増減額 12
			- 法人税等の支払額 130
			- その他 48
営業活動によるキャッシュ・フロー	390		
+ その他収入	0		
			- 有形/無形固定資産の取得による支出 101
			- その他 3
			投資活動によるキャッシュ・フロー 104
+ 借入金実行による収入	400		
			- 借入金返済による支出 487
			- 自己株式の取得による支出 310
			- 配当金の支払額 148
			財務活動によるキャッシュ・フロー 546

次期(2024年3月期) 連結業績予想について

(単位:百万円)

	当期実績	次期予想	当期比
売上高	7,545	8,000	6.0%
営業利益	401	500	24.5%
経常利益	420	500	18.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	369	400	8.2%

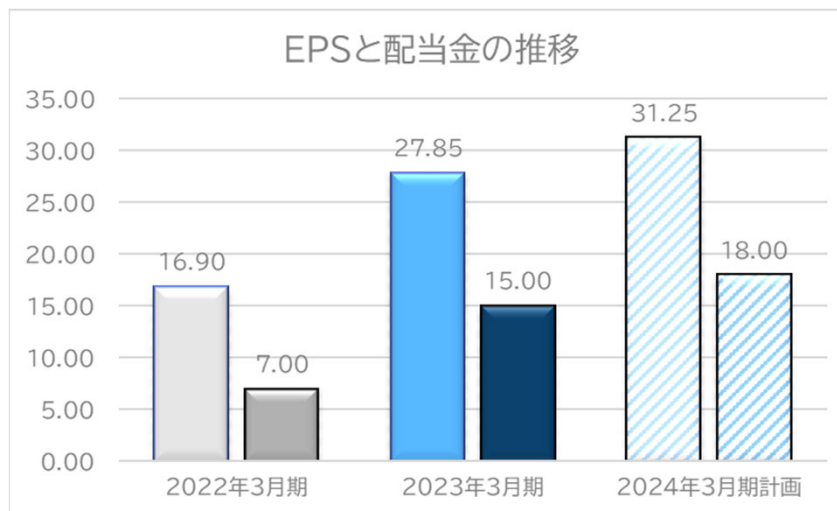
- ◆ パチンコホール広告分野
 - ・話題機種への投入
 - ・広告規制の見直しの動き⇒ 広告需要の反転を期待
- ◆ パチンコホール以外の広告分野
⇒ 需要が見込まれるセクターでの顧客開拓を推進
- ◆ 対当期比で増収・増益を計画

- ◆ パチンコホール広告の収益回復
 - ・ 集客支援のノウハウを活かし、付加価値の高いサービスの提供
- ◆ 需要の伸びが期待されるセクターでの顧客開拓
 - ・ フィットネス、住宅関連分野広告の更なる拡販
 - ・ 公営競技等大型施設への集客支援サービスの提供
 - ・ 地域密着型の広告代理店を始めとしたパートナー企業との協業案件の推進
- ◆ デジタル・アド分野におけるサービスラインナップの充実
 - ・ これまで投入してきた各インターネットサービスのさらなる充実
 - ・ テクノロジーの進化に適応した広告サービスの開発

株主還元について

		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期計画
連結EPS	円	16.90	27.85	31.25
年間配当金	円	7.00	15.00	18.00
(うち中間配当)	円	(3.00)	(7.00)	(9.00)
配当性向	%	41.4%	53.9%	57.6%
配当総額※1	百万円	44	148	217
※1 配当総額は期中支払額				
期中自己株式取得額	百万円	449	310	
期中取得自己株式数	株	1,350,300	900,000	
期末発行済株式総数※2	株	13,699,700	12,799,700	12,799,700

※2 期末発行済株式総数は未消却の自己株式を除いて算定しております。



【株主還元に関する基本方針】

- ・目標配当性向は、当面50%を目安
- ・資本効率の向上を重視し、適切なタイミングにおいて自己株式を取得

- ◆ 当期における株主還元
 - ・当期末の配当金:8円(年間15円) 配当性向53.9%
 - ・当期中の自己株式取得金額:310百万円
- ◆ 次期(2024年3月期)の配当予想:年間18円
予想配当性向57.6%

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部 Tel.03-5358-3334